

検証:「美しい国へ」の260日

——進む差別・強制・参戦の現場から——

6月23日に、国会会期末を迎える。9ヵ月が経過した<安倍政治>は、何をもちたのか。憲法九条改悪を狙う国民投票法案の強行採決、自衛隊のイラク派兵2年延長、在日米軍基地の再編強化、教育基本法の改悪、格差を固定するパート労働法の制定……自・公政権は日本の進路を大きく転換させた。

いま、あらためて「美しい国へ」の欺瞞と危険な実態を、差別・偽装請負、「日の丸・君が代」の強制、イラク派兵と在日米軍基地など、現場の闘いから検証し、メディアの責任とジャーナリストのあり方について、徹底討論する。

<問題提起> 齋藤貴男(ジャーナリスト)

安倍政権が進める「美しい国へ」の危険な狙い

<現場からの告発> (現在交渉中)

- ◎偽装請負と闘う青年たち
- ◎「日の丸・君が代」強制に抗して
- ◎在日米軍基地と参戦の恐怖

とき= **6月16日(土)** 午後2時開会(午後1時30分開場)

ところ= **全水道会館 4階(水道橋)** 地下鉄三田線「水道橋」駅A1出口

東京都文京区本郷1-4-1 ☎03-3816-4196

▼参加費 当日1200円 予約・JCJ会員1000円 学生600円

《主催》日本ジャーナリスト会議(JCJ)

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1-4-8 松村ビル401

電話 03-3291-6475 Fax 03-3291-6478 メール jcj@tky.3web.ne.jp